



今回はUSPTO (United States Patent and Trademark Office) のあれこれについてご紹介します。

### USPTOの位置、従業員数、勤務態様

USPTOは、Virginia州Alexandriaに本部を構える他、Detroit、Denver、Dallas、Silicon Valleyの4か所にサテライトオフィスを持っています。



<出典：USPTO>

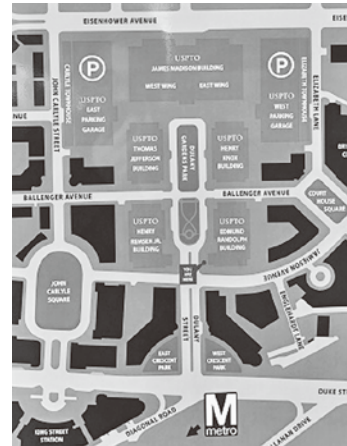
会計年度2018年末時点で、USPTOの全体従業員数は12,579名であり、そのうち特許審査官は8,185名、商標審査官は579名でした。2016年調べでは、フルタイム在宅勤務者が5,678名、パートタイム在宅勤務者が5,132名であり、全体従業員の約9割が何らかの形で在宅勤務をしているようで(当時の全体従業員数は2018年と類似の12,705名)、これなら審査官インタビューが対面よりは、電話やビデオで頻繁に行われることもよく理解できます。

### USPTO Alexandria Campus

USPTOの本部が位置する場所を現地では通常USPTO Alexandria Campusと呼びます。右記写真はUSPTO Alexandria Campusの地図を撮ったもので、USPTO Alexandria Campusは、図上部両側の駐車場2つとともに(Ⓟと表示)、基本的には5つの建物から構成されています。

図中央上部がメインビルのJames Madisonビルであり、資料室、セミナールーム、カフェテリア、お土産ショップなどが入っています。

メインビルの下の方の4つのビルはそれぞれ、Thomas Jeffersonビル、Henry Remsen Jr.ビル、Edmund Randolphビル、Henry Knoxビルであり、各ビルには技術分野ごとに分かれた審査官の執務室があります。審査官との対面インタビューがUSPTOで行われることになった場合、その多くはこの4つのビルのうちどれかで行われることになります。



### USPTO審査官の業績ポイント計算締め切り

USPTOは、基本的に、2週間ごとに審査官の業績ポイント計算を締め切ります。この2週間ごとの締め切りは月曜日が締め切日であり、審査官たちはこの日のことをCount Mondayと呼んでいます。実務においてこのCount Mondayが時として重要になる場合があります。例えば、業績ポイントが少し足りない審査官はCount Mondayの直前に許可し易い案件を見つけて、US代理人に電話をかけて、ある部分を補正すれば許可可能な旨を伝えることがあります。これに対して、US代理人は日本の出願人の意図を聞かないと回答できないので、審査官の問い合わせに即答できず、日本側に問い合わせをすることになります。これに対して、日本の代理人および出願人が早く返事をしてCount Mondayの前に審査官に回答することができれば、審査官は締め切りに間に合うように許可通知を出すことができ、業績ポイントを得て、ハッピーになるでしょう。一方で、日本側の回答が遅れた場合には、審査官はそれほど嬉しくはないはずです。このようなことが全ての審査官に起こるとは限りませんが、実務の一つの豆情報として覚えておくと良いでしょう。

更に、3か月ごと、つまり3月末、6月末、9月末、そして12月末に締め切りがあり、この中でも9月末は、業績ポイント計算における年度末です。ということは、9月末は審査官が一年を通じて最も忙しくてナーバスになる時期とも言えるので、この点も実務に適宜反映すると良いでしょう(例えば、この時期にリクエストしたfinal OA後の審査官インタビューは拒否される可能性が高いことを事前に考慮に入れるなど)。

以上